

# 顔認証の概要とその問題点・課題

↳ 顔認証は監視カメラで録った画像から、人を自動的に識別するためのコンピューターのアプリケーションである。

## 特長

- ①非接触で認証することができる。
- ②なりすましが困難であり、セキュリティが高い。
- ③普段から顔は認識によく使われるため、利用者の心理的負担が少ないと言われている。

## 活用例

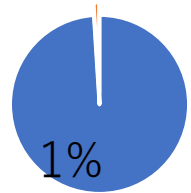
- ①AppleのFaceID
  - ②犯罪捜査
  - ③ライブチケットの転売防止
  - ④タバコの自動販売機
- など使用のされ方は多様である。

顔認証は現在も発展を続け、盛んに活用されており大きな可能性  
があるが、同時にたくさん問題点、課題がある。

# 顔認証の問題点

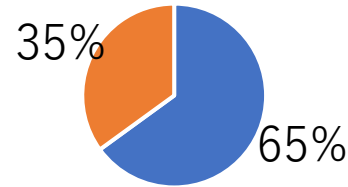
- 顔認証は、白人男性よりも黒人や女性が認識しづらいという問題点がある。

白人男性



■ 正しく認識 ■ 誤認識

黒人女性



■ 正しく認識 ■ 誤認識

99%

実際、グラフのように人種によって誤認識の確率が大きく異なっている。原因としては顔認証システムの開発者に白人の男性が多くサンプルとして開発にあたって白人男性の画像がよく使われることが挙げられる。現に存在している差別を助長しかねないことが懸念されている。

- プライバシーの侵害が問題点として挙げられる。

現代はSNSでも多くの人が本名、出身校、誕生日や顔写真などを公開しているため、もし監視カメラで捉えて画像とSNS上のが結びついてしまえば個人の行動パターンなどがわかってしまう。これが犯罪に利用されてしまう場合ももちろんある。

# 顔認証の今後の課題

- ・ 顔認証は多くの技術者が取り組んでおり、活用範囲が広がっているにもかかわらず法整備がきちんとうあ進められていないのだ。世界全体で統一されたルールなどはまだ制定されておらず、今後顔認証でのデータを一つの個人情報として保全するための法整備が必要になる。
- ・ 認識の精密さにおいて人種によっての差異が生まれているが、開発にあたって偏ったサンプルを使うのではなく広い範囲でサンプルを採用し、開発に当たるようなルールの制定が必要になる。

いずれにせよ、技術の進歩と法制定の速さのバランスが取れておらず起きているため  
今後はより慎重になっていかなければならないだろう。